

石 河鹿 鶺鴒

川の石のみんなまるいのは
私の尻でたたいたためです
いいえ私か遠くから
ころかいてきたためです
俺は昔からまるかった
んだ
三好達治の詩



鶺鴒（鶺鴒）と河鹿（かじか）と石の擬人的問答。現代世相にありがちな、手柄にならないことをままわが手柄のようにあげつらう世知辛さ。詩人はそこを皮肉ってこのようにそぶく。